

鏡の

悪魔



祖父が
亡くなった

祖父の家には
古い蔵があり…

こっちも
数が多いな…

2階も
あるの？



1階と合わせて
とにかく多いな
とりあえず上下
別れるか

棚の上まで
細々と箱が

じいさん
祖父も
よく貯めた
もんだ

価値があるのかも
不明なものを
とにかく集めていた



はうあ...

グキッ

父さん!?

なんで
ぎっくり腰に
なるかな

財産目録のための
遺産の整理なんて
本当は父さんの
やることなのに



...俺は下に
いるからな

焼肉食べ放題
だけじゃ
たりない!



俺らじゃ価値なんて
わからないから
とりあえず品名
書き出しておいでくれ

茶碗...?

だいたい



…達磨の
横に……



……



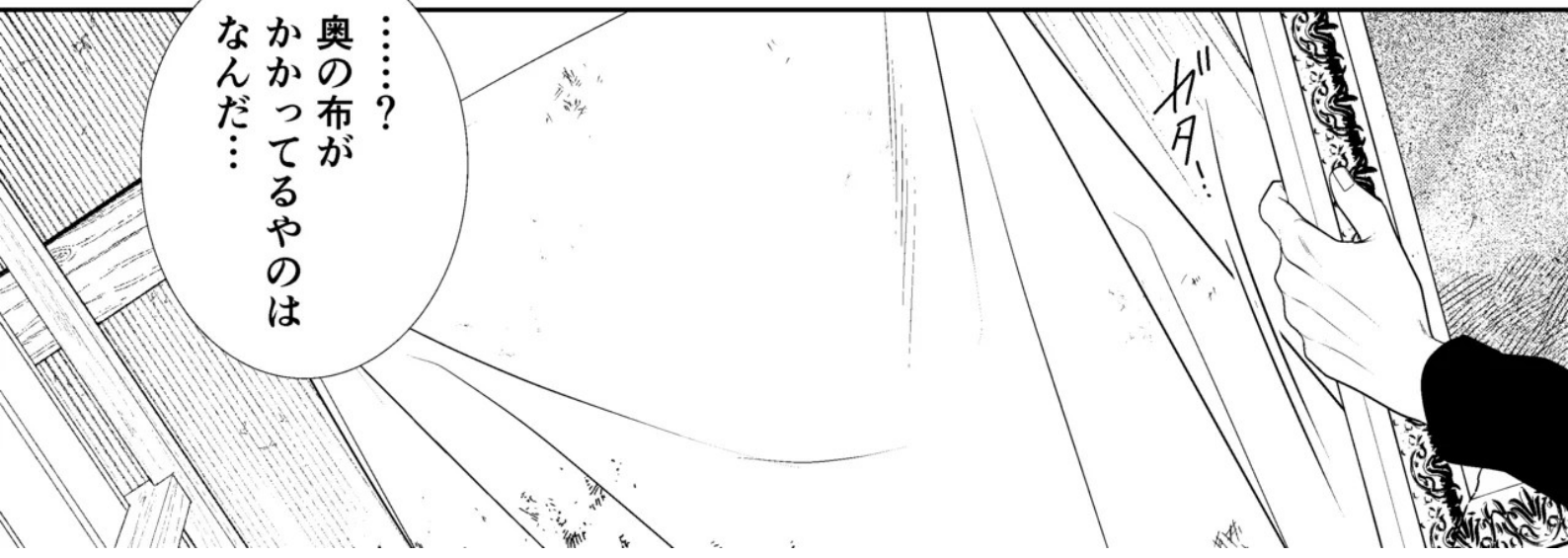
何これ
マリア像？

収集物
統一性なさ
すぎだろ

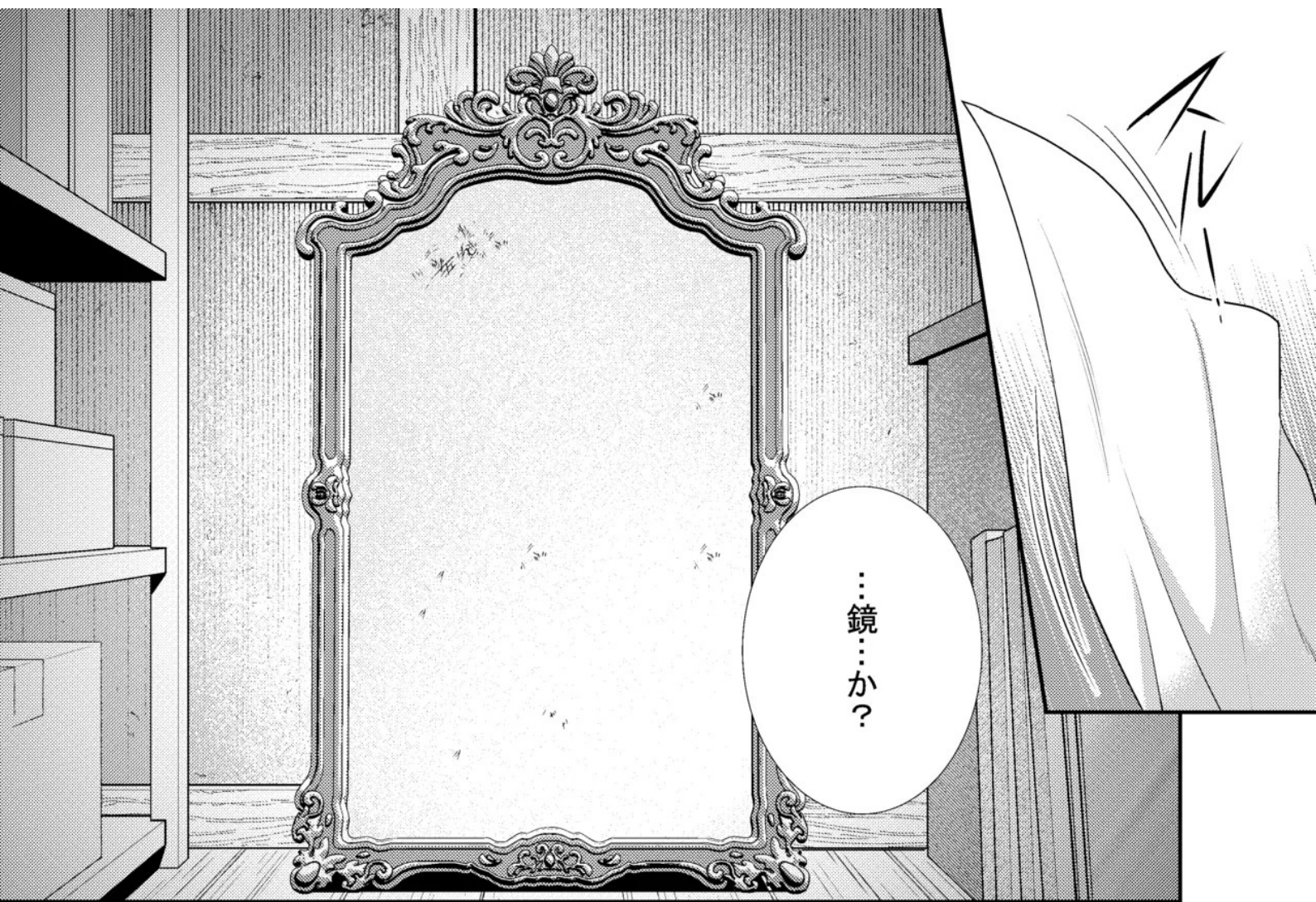


なんでこんなに
絵画が……

ただの
物置なんだ
よな……



……？
奥の布が
かかってるやのは
なんだ……



…鏡…か？



アンティーク品…
にもみえなくない
けど…

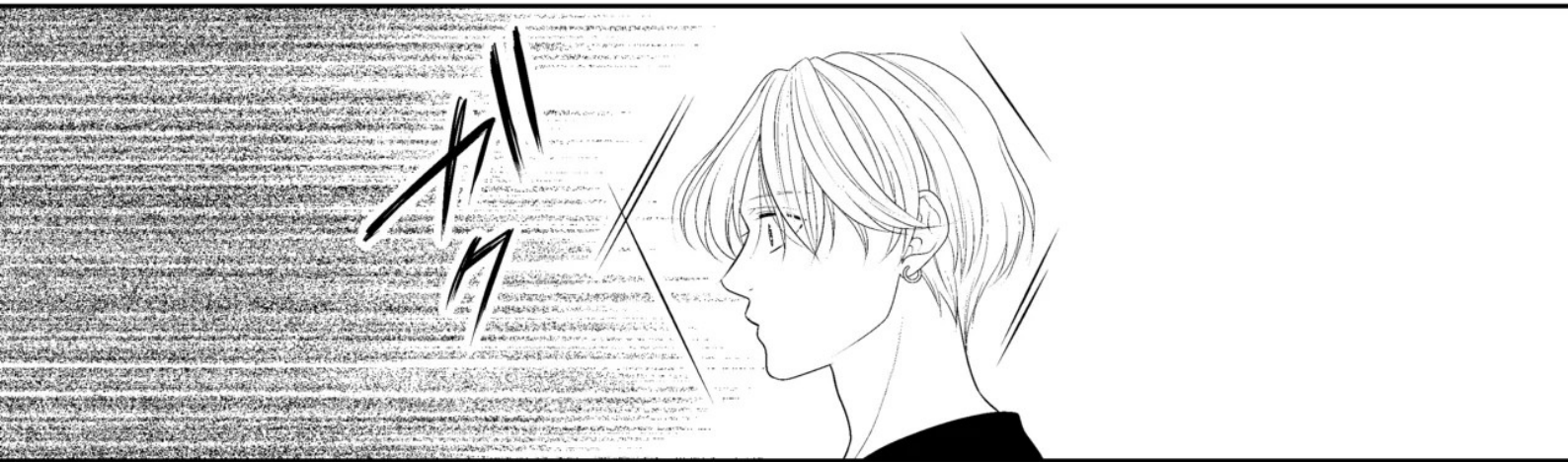
綺麗に
なった！



価値あるの
かな…？
一回兄ちゃんに
聞くか…



収集品としては
なんでこんなに
汚れてるんだ







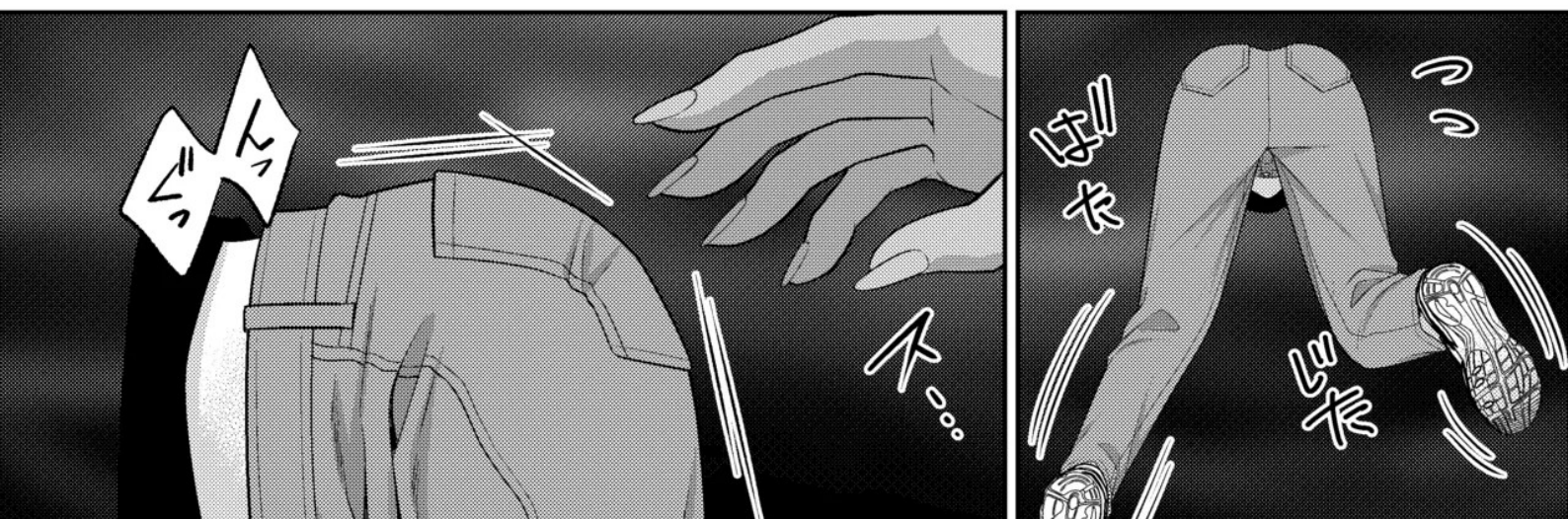
鏡から角の生えた…
悪魔みたいな姿のやつ
出て来たと思ったら

なんだ!?



びくともしない
下半身どう
なってるんだよ!!

気が付いたら
下半身が
鏡に…!

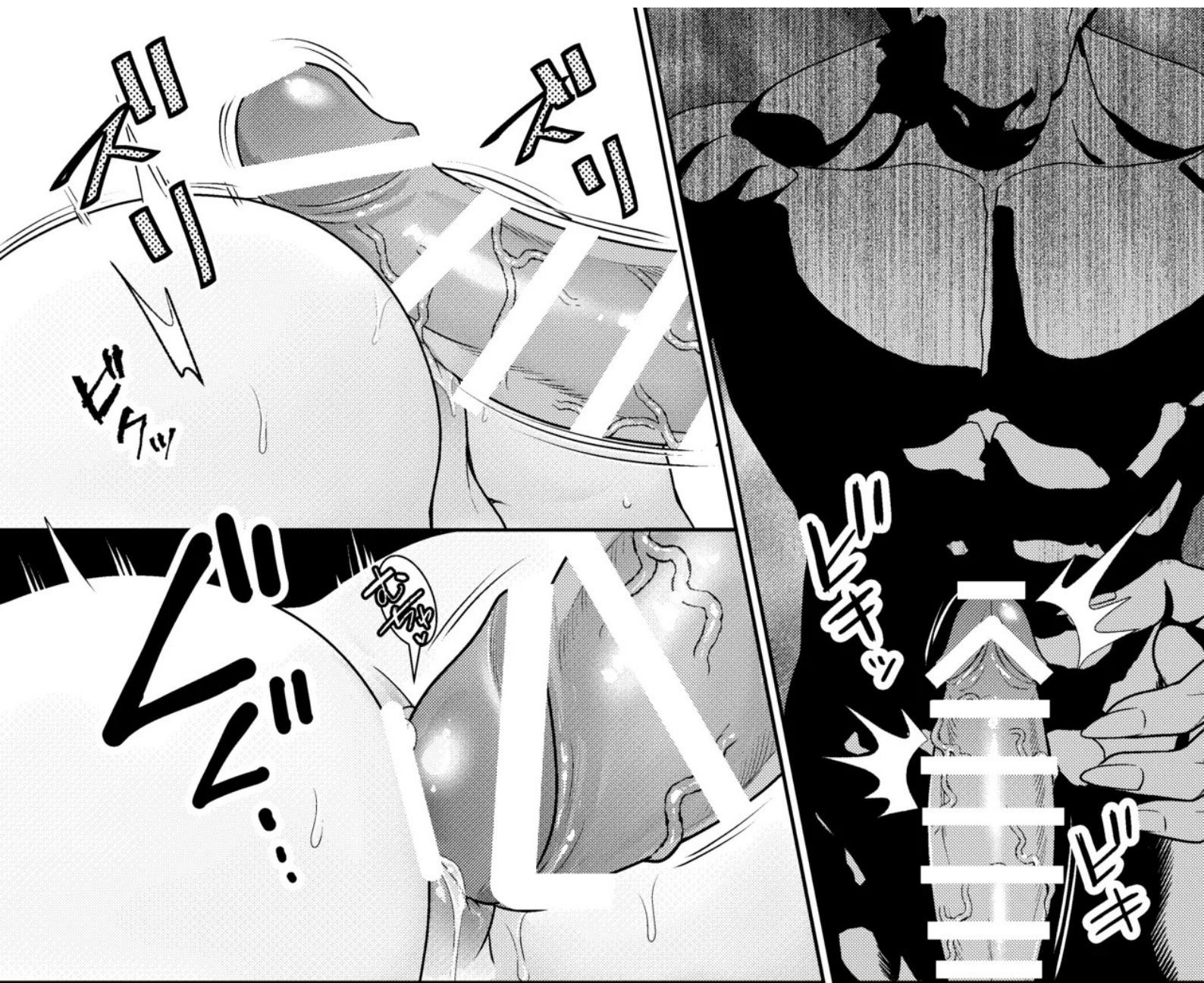


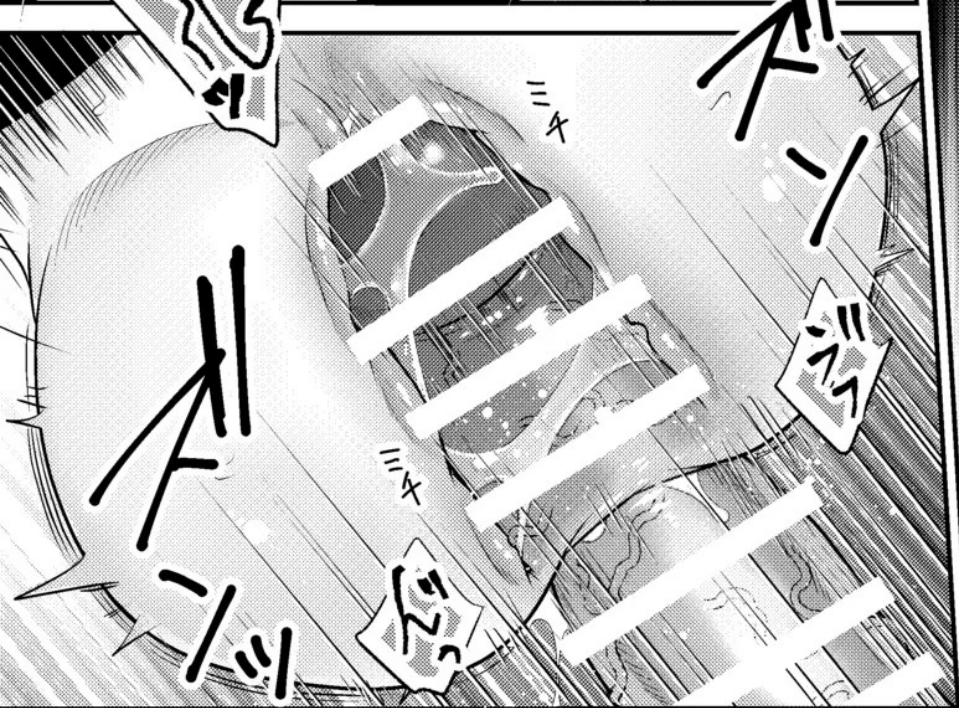
はっ
はっ

はっ
はっ











熱...い？
腹の中が



なんで...中に
中に出された？



さっき大きい音
したけど
大丈夫か？



兄さん



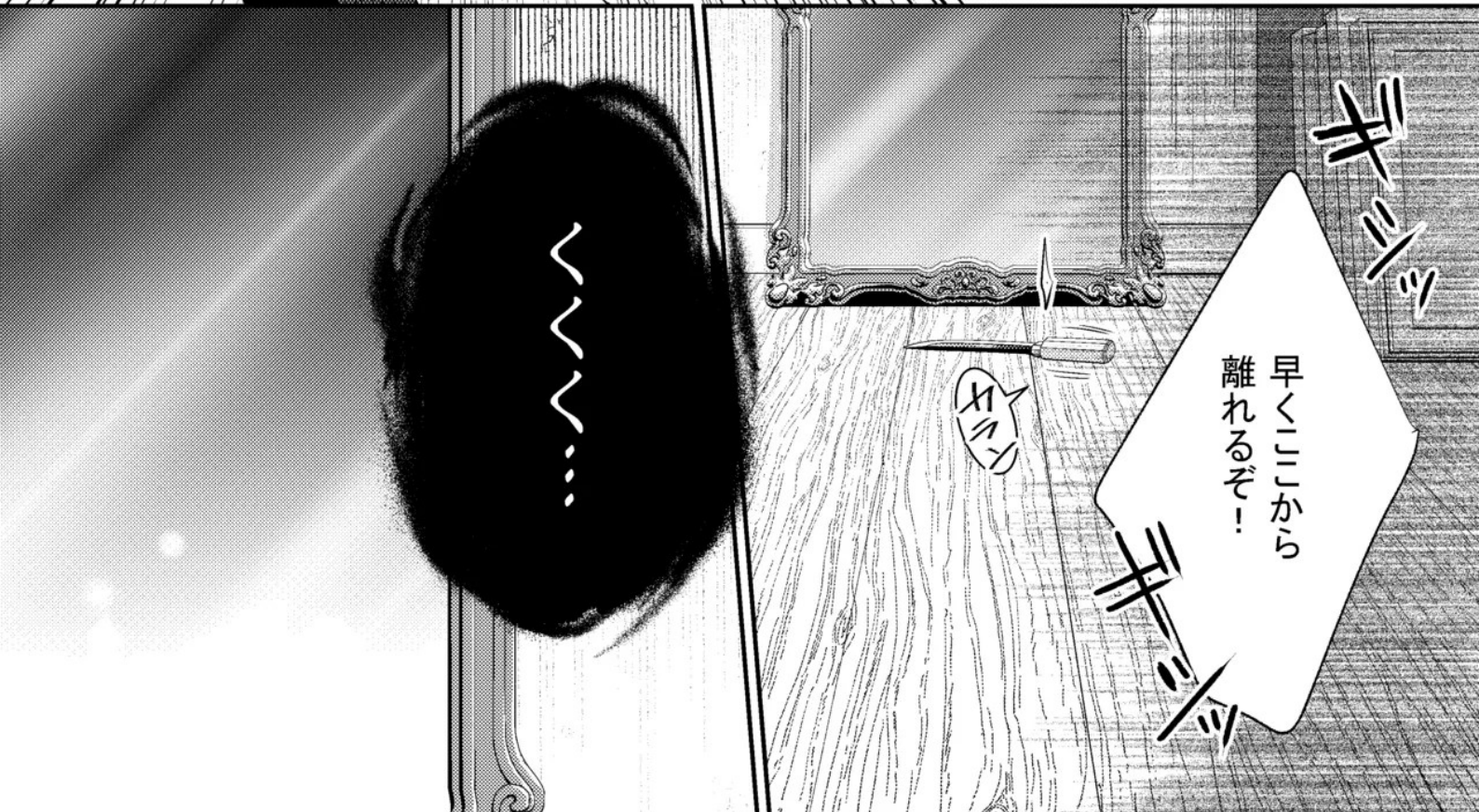
このまま
どうなるんだ

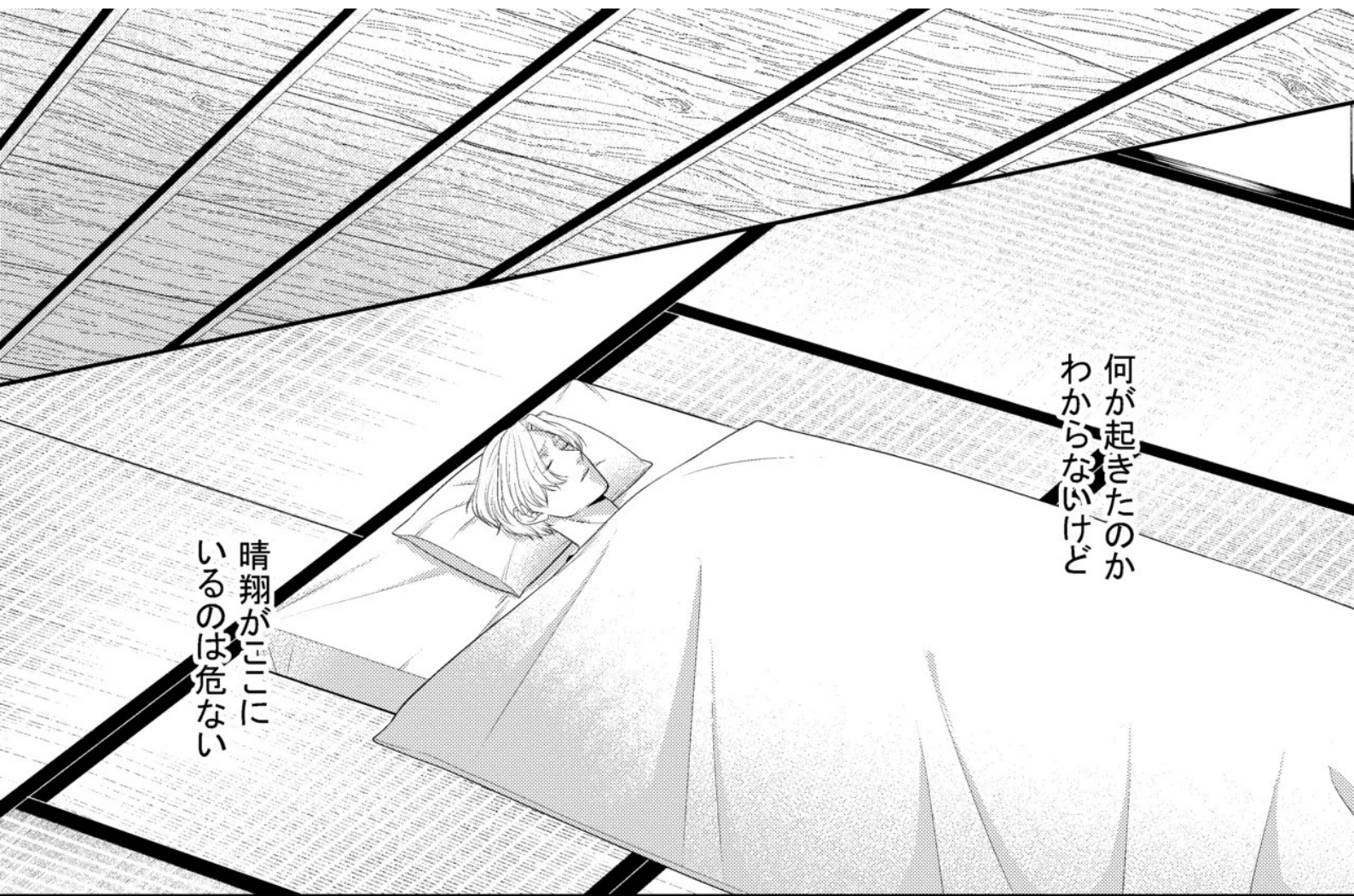
助けて











何が起きたのか
わからないけど

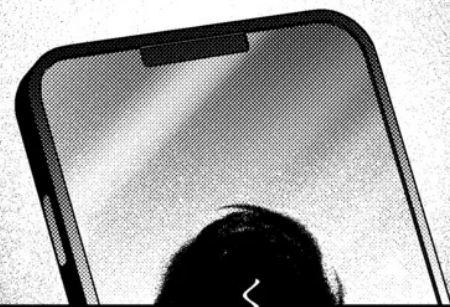
晴翔がここに
いるのは危ない



父さん！
あの…実は
実は晴翔…が…



父さんには悪いが
すぐにここを離れないと…



報復を…と言いたいが
お前の弟には
感謝している

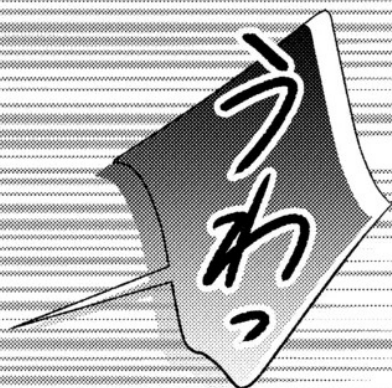
くくく

さっきは
痛かったぞ…

……う

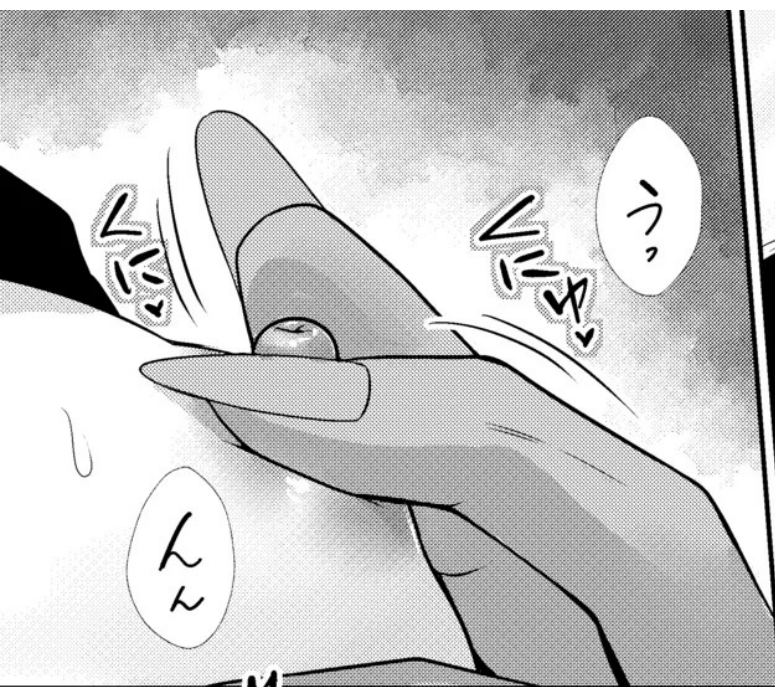
長き間縛られていた
鏡から解き放ち
弱っていた我に上質な
精気を与えてくれた

だがまだ
完全ではない
逃げられては
困る…









もっ…
い…やだ…ア

や…だ
離っ…して…

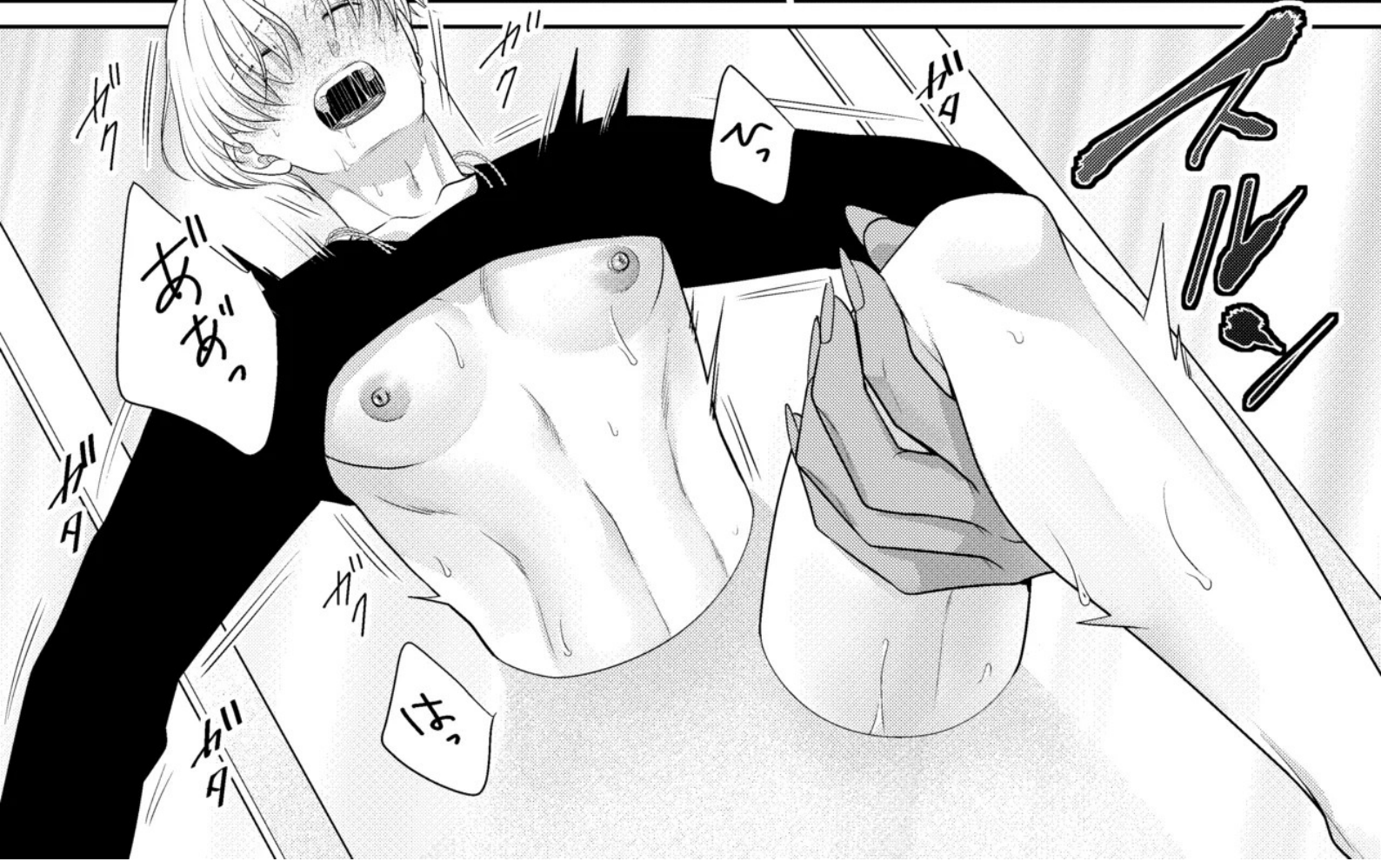


えっは...

ドン

バン

バン





向こう側に
アイツ
悪魔が
いるのか!?

お前…まさか
アイツに…!



や…っだ
見ないでえ

に…さん

う

ああ

おれ…
見ない…でっ

あ

んう

カリ

ガク

あん



晴翔!?

ドク

グ

グ

グ



